

# 与論島の活性化のために

4316100316

歯学部歯学科 1 年

林 琴音

今回初めて与論島を訪れました。私は千葉県出身で、鹿児島島の離島の存在も屋久島と種子島と奄美大島の3つしか知らず、恥ずかしながら友人からこの講義の話聞くまで与論島という島は耳にしたこともありませんでした。この講義の抽選が通ってから、与論についてパンフレットやテレビの特集をみて学んでいましたが、実際に行ってみると事前に思っていた町とはまったく違って驚きました。島で一つの自治体だと聞いていたので、町民すべてが顔見知りのようなもっと小さな町を想像していたのですが、車がないと島を移動するのに苦労したり、もっと平坦な地形かと思っていましたが、島の中心に丘がありそれを境にして3区域に分かれていたり、この丘があったり、坂道が多いので自転車での移動はとても大変で、電動自転車でないとも移動できる区域が限られてしまうなどといった感じでした。百合が浜は最近メディアでも取り上げられていると島民の方

がおっしゃっていたように、実際にネットで調べると写真や訪れた方のブログの記事がアップされていたのですが、他の観光スポットはなかなか詳しい情報が見つかりませんでした。与論島にはもずくそばやパイナップル漬けという郷土料理だったり、島全体を見渡せ、絶景を見ることができるサザンクロスセンターや、十五夜まつりという伝統のある行事や様々な文化があり、見どころは百合が浜だけではありません。しかし、実際に与論島に行くまでにこれらの魅力を知ることができませんでした。大都市である大阪や東京から遠く離れた場所にあり、さらには与論島に繋がる交通手段はフェリーと飛行機のみで、その本数も少なく、沖縄か鹿児島を経由してしか訪れることができないという立地のハンデがとても大きいので、これだけ魅力がある島で、島民全員が歓迎しているという素晴らしい現状を知らなければ、なかなか足は向かないと思います。民宿も多く、マリレジャーも充実しており、多くの観光客を受け入れる体制づくりを行っているということだったので、あとは島の魅力をいかにして外部の人に知ってもらおうかということ

だと思います。そこで私が提案したいのはありきたりかもしれませんが、SNS やネットを使った情報発信です。SNS なら更新も楽にでき、短い文章で適格に現状を伝えることができるのではないかと思います。ツイッターで島の天気や百合が浜の出現情報や海の雰囲気などを発信するのはどうでしょうか。また、ダイビングショップのHP を充実させ、例えばダイビングを楽しんでいるお客さんの様子をブログでアップしたり、リピーターのかたとだいぶ親しくなれると思うので、詳しくお話しをうかがって、観光のプランを掲載したり、実際にこんなお客さんがこういった日程で与論を楽しんでいますよ、という例というか、旅行記みたいなものがあれば、リアルに与論の旅を想像できていいのではないのでしょうか。そのプランがより魅力的でよりお手頃であればあるほど与論に惹かれる人は多くなります。また、旅行者だけでなく、島の人暮らしやお店、民宿の様子などを発信すれば、与論に行ったこのとのない人でも与論の雰囲気や与論での暮らしを簡単に想像できますし、与論の人たちの温かく友好的な人間性も知ってもらえると

思います。こういった情報発信のいいところは誰にでも気軽にできて、お金がかからないことだと思います。パンフレットを作るとお金がかかってしまいますが、SNSやHPの更新はほとんどお金をかけずに、しかも素早く最新の情報を全国にそして海外にまで発信することができます。離島という四方を海に囲まれ車での移動が難しい島なので、インターネットを通しての宣伝は簡単なのではないのでしょうか。与論のきれいな緑や海は写真映えもすると思います。こうしてなかなか簡単には行くことのできない南の孤島の素晴らしさを知ってもらえたらと思います。